第116号 2019年 8 月発行 ナルク大阪南「いちょうの会」

〒542-0012 大阪市中央区谷町6-4-8 新空堀ビル2階 206-2

TEL/FAX 06-6710-4522

E-mail osaka-m. ichou@sky. plala. or. jp

ホームへ。ーシ゛ ナルク大阪南

丨るも援

で活たセ

支動まン

え会にタ

て員あし

いはりな

(検索)

しにた情(点案 しとでみ援公なたK る増まど よが者た所し間績した纏め報詳デを早たいはて活表っ、氏このえすか各り困減ののたか時て先 ①しにた情へ点案 い用 うなも動して「一のがずがら区ま難にも食。ら間い月 ま件一 めごに細一受速 す数時 `なてい現西様現`、の社すによ大事大昨がたの てを触はタけそ もは

み下れ個の `の ま表る人み要提

`毎 現月 在50 は件 171E 件ど

にあ

なっ

った

て利

て参そ援用案会 く加ん内会のの るしな容員あ時 のて支をとっに

なる幅作阪年一通第 つ新減り市は昨り11 て規の委大54年 `回 きの一託病時比時総 て利因事院間月間会 い用で業内へ平預の る者すがカと均託議 こ引がなン半1活案 とき `くナ減0動書 に受活な保し6ので もけ動っ育ま時実示

拠点 助 け 合 活 VI 動活 支動 援の の現 実 状 態 5

> 活 動 状 況 表

件No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
活動場所	生野	住之江	住吉		天王寺		平 17				港		東成	東住吉		阿倍野	
馬動著人數	1	2	2	4	1	1	3	1	1	1	2	3	3	1	2	2	3
活動の内容	病院付き添い	外出介助/車椅子	院内話し相手・買い物	施設内話し相手	片付け・話し相手	病院付添/院内介助	買物介助/車椅子	病院付き添い	掃除・買い物	エアコン掃除・球交換	窓拭き	外出介助/車椅子	老犬の散歩	庭掃除・除草	学童迎え・見守り	見守り・食事作り	避姆除,渠险付近,話相手
男性	0	0					0					0					
女性			0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	子供二人	0	0

活動支援件名別の活動内容表 】

きれ

難一新てる

なト規い同

も時 場時のるじ げろ絡結方 んの将 まし頂構にとか困来今い間こ合要利た会実 りちのら点のも請用め員際 すくけで`い ようつ数表多通要にがに ごれす週う とっちしをのいり請減年活 理ば °1こ にといっては、いったい田にいる方面にいった。 解大活回と の変動でで 程嬉ごも おし参、ぜ 願い加月ひ 用生貯 いでの1事 困ネー。 申す旨回務

し活め

ま上て

せで

れた

る預

方託

て同す総 すじすて援 。てるもを週いじが合各 引か、、2ま会 き、現とくす員実す数 受そ有い3 の態る毎 繰はとの けれ勢う回 てぞ力利や りこ延実 いれか用月 返れべ際 しが32活 る 1 ら者 2 の回み要り で17名動 運名に者 が程て請3 実度おが回 営程な人 態に断あの さ度り数 れのまを で減りっ支



で容のい際にそ すは支るに対の 表援人活し17 の活数動て件 通動とし の内で て実々

事 務 局

し。ごで所

上よ連もの

ボ ウ IJ ン グ 大 会

工

IJ

r

連

絡

会

議

開

た分両 -か拠玉梅 れ点出雨 てかボの 二ら ウ合 レのル間 1750 ン名~ での西7 参成月 ボ加区21 ウ者ご日 リはにヘン、集日 グ3合 を名し午 始とた後 2 **め**4 ま名南時 しに北に

`年ンの

り個もき第もげれガがこらボ にわてましうと数ウ大 的でスうかいしタまで十リ半 トまっるたーく ンも拍うくてう。もつ初ぶグ参 ト久手イなきちし多かめりは加 クってにか々めはだ数者 `要しみず感と年は スい次領投ら `覚のか

一点に集中

やて がでれ 大しる 切たこ ながと こ、 と 強 出 をくて 実投き 感げま しるし まよた。

ま点みユ

状告〕面

況をクの

聞高 け得 ば点 時は Þ 若 I いさ ン学ん `存今しち区 でとボ9 はのウ点

プロボ 思次0人楽分し別 橋のジし皆い回点的しなか格とを 参したでまのをにめりしの よ目皆在回んと にるまい標そでので一の こずのをれしない緒1 たとはでもぞたかるに4 いを1 `つれ 0個て自

にう は一解 度散 よチと りャな 多レり 正加たが一す目超はばに 明をい、時。標え、よ目 期もぜ間 住待のひ半 吉しでま楽 区ますたし ゜のく

そ機過

の会ごさにし

いもて

す拠を回うを果的拠木摂面れて 点皮り、しなは点、のでまのぎでと、ど、幹豊七もし 幹豊七もし令月 担り準の結をそ事中拠開た和16 °元日 当に備狙果報れ担・点催 で概運い拠告ぞ当池(都こ年) 七ね営で点しれ順田大度の度火 拠三しすの合の 、阪報エ最 点か、。レっ拠が吹北告リ初13 、しアの時 が月大開べて点集田 一毎阪催ルおのま `高て連エ半 巡に北幹ア互重っ大槻い絡リよ し開拠事ツい点て阪・ま会アり た催点担プに項の南島す議連箕 `の当を良目会`本がは絡面 い今第は図い、議箕

う回一拠っと現で面摂大当が点

次の回点てこ状す、津阪会開に 第箕担持い取、。の・・報催於

で面当ちこり成目各茨北紙さい

をさな都 紹れ取合 介たり上 し拠組

熱心に討議中

`ル

事供員菜園の家 。べを行吹業すの園を高庭茨すの報ニ紙 ン纏つ田運る交を借さ菜木 めて拠営と流運りに園拠 、ナ点へとの営て鑑へ点 催個ルでのも場しナみので 作画ル ヘ々クは実にを 、利、智 `利 参意動会を収提会ク農心 考識に員図穫 資に対のつ物 料沿す意ての つる識いバ した会調るザ て活員査 い動のアの開るお意ンこ催 こと。 そ願識ケ ういデ でやート

誘コで のラの高 会・日・ を共サ島 探同口本 つ展ン拠 て示を点 いな運で などを行っている。 、般 っその 方も —他参 般団加 会体O 五 員 と K 勧の型

> た七もしが向った。 拠市分うに箕 点ののまあ面 出施なくり拠 席設いか、点 者を環み事は 19利境合業 名用下っ運現 Ĺ にて営在 て あこも新 番いりれ市入 ままな会 すたど員 おり 。順かも 広今調ら順 果仏く回への調のの調のと な備のと委に りで会い記述 で議う事加 まき、場中業領

絡す活 会が動一 `会部 で今員拠 の後の点 情も確を 報有保除 交効 換な拡 を手大共 大立に通 事ては項 にが苦と しあ労し てれして 参ばては `い何 V) まとる処 す当様と °連でも

務

手 編 4 同 好 会 \mathcal{O} お 誘

さは しさ際 し弘々こノ県 「、八い、手ついに事た子プとをき東り。め 作い始す時 北た一て午ら編 さ椅が ん子で皆あ大い作も前四み がのきんが災をは構のまが、 編んでくれましたの質がある。そのでは何でも自由で、そのでは、沢山を作ります。(そのには、沢山を行ったがある。(そのには、沢山を作ります。(そのには、沢山の方が都合のいい。 自へ合点毎由その事月 でのい務第 L 毛でたの 旨い所三 、方に水 れごはて曜 で山多毛 ぞ連 、行日 事作く糸 務つのを れ絡十つの 所てモご の送チ寄 自く時て午 分だかい後 パる一付 のさらま二

つ覧寄 加あす くるよ圧くり 区 もだの だ方

お編か。は務

参のまけごち

の度立

ご心労

東淀 Ш

とば 0 歳時 記 入 月 田 文

れと終あるがナ マーるでして、 ツ長ら代てて本はるを いい来ナ。光 使たな前で我て わかぜであ々

でイをわも話暮の 学れれわオも従あモ略なのとら裾宮ていりる 、つる。 でなしを廷いうのが同スが紫 「ててあるて引とたと」、じと八紺 オーはっといきか女、ビ最様呼百色 オいた、たず大房そ」後にん屋の 」けら下女り名これやがカでのつ をなし品房なのどは「略ブい店や でなしい房なのこは「略りい店や とついいな達が奥ばどラさもる頭つ いけ時。話にらに厚う」れ、がにや うてにそ題と上仕原もをてカ、並しる「はれとつ品え」があるが、 はれとつ品えが日前し、 、でしてをてが戸約まラしでハ 田もてはモ、ス時しつがくいダ にデ田もてはモ ン楽ど眉 えサガてそ食とち。につ。名ビ通せ たツクもめ物しか 言たのてけ

授馬のたス女で、淵で。」 の和はそのオン 氏い「カと かオブばもカ でカ 央とがとはブ

大こ取言「ラ

教はたれナ

淵で

の大はせの山「帰在ま 山文1る山銀送つにつ◆ °腹閣りてなた八 └ 4因に寺火きつく月 ¬mみ、の」たて観十 。に大東のおい光六 壮一とに習精る京日 「観はいあ俗霊が都は 法で73うるのへ あm文如大しもト文 る、字意規よとレ字 。ノを嶽模らも | 焼 形こは火へないとドき の1でにもしはマの 「夜4浮よのさ盆1日 鳥は6かいだんでク 居他mびがつをこの現 」に `上だた見の様在 を ¬逆がけ °送世なで 別左ノらご東るに存は

> だく近文「なはだは べな「けは代字妙の「かっい大だ」のを「 だら」 、つい大だ「のをや」 大というで で我文で大も焼やろうない。 こ々字たので習法が ん風ので習法が、 なはながない。 なはながない。 つい大だ「のを」



大文字焼き

こ食料養 バと事理価痛 トお

心ど高がバす

あががいあナめ

ごけお野るナ、カ

リ奥すをきな

歯めたは、で。つ、

ゆまぷあ

つたりご

かラチ担

んンュを

でスーか

食のやけ

。べよ豆ず

るい腐栄

'n

両

方

を

む

カゝ

0

お、

はをなもみ

よう!

とん風」ののて自仏 文でな情をだ文、慣」か字 あこは物か字古はの る。と、干ら でせし もい台当 考ぜや然 えい窓後 て 一か者 大らの 暑の簡意 い字単で 夏」にあ

のに見ろ

夜寝らう

しんやば

よでして う 、過を

プ温切冷

みア温い

そッか物

汁プいで

をを飲お

プ心みな

ラが物か

のもおすすめです。 ・健康アップ習慣 ・健康アップ習慣 ・関ぎないことが大 を防ぐためには、 を防ぐためには、 を防ぐためには、 を防ぐためには、 を防ぐためには、 を防ぐためには、

ツ

スけをを ま選冷夏

をそれ

康 情 報 シ IJ 1 ズ 31 顎 関節

しののは大閉ど ク中っ 、 カ 、きじ、原力まと アクです ク中うほに 世界 日 領 東 大 大 関 しきを頬なてさ因クです、本関**管理**」 う。外くえ因るざ、がかとくの症」 は意をととまかす開ああ2は 上識ついきなみるかごる人軽 下をくわに理合ななの病にい の持癖れ上由わどい関気 1症 歯つをて下がせず、節で人状 をなやいの考ので口やすがも どめま歯え悪代開肉症験めるする。 。接れや表けが状する せ話日予触ま緊す閉痛はるとなや常防させ正しなか。 なや常防さす張 ゚゚゚゚゚゚ゕ゚゙ゕゖゖゟー `をい生 いそ的・せがの す る口開わの よしに改る うやあ善癖口続 とがけれう にくごにもをな カ途よるち

をセをつに果顎 ビロリで心の関**生** タトラあがあ節 ミニッるける症 ンンクセる食を B6をスロこ事招 さトとをかわ せニがとな ために、いたは、 緒た風ン大りい 、で歯め とにが増するには、 りす脳み たこ神しリ 。と経めラ いり しト で細なッ 体胞いク とのよス

俳 句

吉 Ш 美 住吉

広療術

カレ

- 緑 \mathcal{O} 只 中 \mathcal{O} 生 気 カュ な
- 山夾万 竹 桃 花真 \mathcal{O} 盛 ŋ \mathcal{O} 高 速
- 伏 t Щ 好 きも 待 山
- 村 光 此 花 区
- 京 S \mathcal{O} び 神 き 事 7 す 謳 コ う チ 蝉 丰 \mathcal{O} チ る

七八

やに

ŧ

手

を

合

せ

る

祭

月 坂

松井 (天王寺区)

なほ子

催 事 等 案内

0 11 き が 11 • 助 け合いサミット in 大 阪

共 生 社 生 活 を を 支え合う つくる地 仕城 組包 み括 とケ 実ア 践

内 容 ノがく 助 月月わめウー り るん ウに挑 を会戦共しし 支 三集会で、 て し課いて題る う す。 や全共 つ取国生 なりのの が組関地 りみ係域 をの者づ

日主 さ深 (公益: 4 法

時催 9 9 10 9 日 日 月 火 9 13 時時 ((16 18 財 時時

プ

口

: 部全グ 大パ体ラ 阪ネシム ルン 、ポ 全ジ 体ウ 発ム 表 第 部 5 第三

所 会議 場 北 区 中

場

通 京 ぶ「中之島駅」 ・フ大阪)

交



教室 同 好会

☆ 介 予 及 ト 運

日 主拠8防 事 22 び マ務日脳 () レ 14動 (₁₅室 時

教場 材所時:::: 点月 所

Ì 痛 肩 痛

日健 時康 麻 雀 初級 室

8 月 3 日 は13 お時8 休半月 J 5 24 し 16 日 ま時 ま時(土)

場 所 拠 9 点 月 7 事 務日 所

☆ パ ツ チ ワ Ì

日 時 8 月 7 日 第 **1** 13 水時 曜半 日 5 に 15 し時 半

(今月だけ

教場 材所 ・拠点事務所 キ ル 1 二千 円

日民 同

時踊 8 8 月 倍月月 野1327 ス日日 (火) (火)は お 休 13 み時 /一」4階号15時

場 所:「 冏 ポ セ

場日俳 所時旬 同 好 会

8 点 点 事 17 日 主 10 時 5 12 時

拠 務

日健 7 Ì ジ 3 + 日ン 土同 好 会

時康 8 月 **\$** 13 8 休時月 み 5 17 し 18 目

拠 9 点 月 7 事 務日 . 土 は ま時

場

所

所

場健 所康 7] 4

麻ジ 8 月 雀 つから ア ステ 同 好 $\overline{\langle}$ 1 会 お ル 休 みします (天満 橋

み 好

日手 所時編 点月 事 21 日 水 14 時 (16

時

場 拠 8 務 所

紙 会

日絵 所時手 : 拠点事 19**6** 日 月 14 時 5 16

時

務 所

力 ハラオケ り月はお休みしょグ 同好会

8

ます

お 知 らせ

有難うござい(東住吉区) 古区 工様(こざいました。と)からご寄せ 付を頂 から、 戴しまし M

6月度 会員動向

◎ 時間預託活動 61 時間 20 人 時間 248

◎ 奉仕活動 間 提供者 21 人 ◎ 会員数 会 1 世帯 2

会 3 世帯 5 人 退 ◎ 月末会員数 172 世帯 218 人

間

時

時

提供者

点事 務 0 6 7 1 4 5 2 $\bar{2}$

お 土事 拠)盆休 曜・ 務所の み日 執務 祝(休 8)(休)日 月 13 日 L は、 平 6 (火) 日 おの 5 休100 16 み り で り 5 す。16 。時 **金**